



秋の火災予防運動が実施されました

「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」

10月15日(月)から10月21日(日)までの一週間、県下一斉に秋の火災予防運動が実施されました。

火災予防運動の一環として10月15日(月)、佐井村消防団と合同で車両パレードを行い、絶対に火災を起こさないよう一生懸命防火を呼びかけました。

これからの時期は、空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。各家庭や職場において、石油ストーブやコタツ、ファンヒーターなどの暖房器具を使用する機会が多くなりますが、取り扱いには十分注意し火災を起こさないようにしましょう。



第28回防火の花コンテスト

9月7日(金)、下北消防本部で第28回防火の花コンテストの審査が行われました。

下北管内27の幼年消防クラブが参加し、佐井村保育所幼年消防クラブが見事最優秀賞を受賞しました。



11月9日は119番の日です

1987年(昭和62年)に自治体消防発足40周年を機に国民の消防全般に対する正しい理解と認識を深め、防災意識の高揚と地域ぐるみの防災体制の確立を目的に消防庁によって制定されました。消防・救急に関する緊急通報電話番号である119番に因んだ語呂合わせです。

では、なぜ119なのでしょう? 昭和2年までは実は112でした。当時は黒電話を使用しており、一刻を争う緊急時にはダイヤル時間の短い112が使用されていました。

ですが、ダイヤル操作に不慣れな人が多かったことや、番号が並んでいるためすぐに通報できる一方、通報者が慌てて話すため詳細をうまく伝えることができず、聞き取るまでに時間を要したなどの点から、2ではなく使用頻度の少ない9(当時、ダイヤルを回す距離が長くつながるまで時間がかかった)を使い、繋がるまでの間に気持ちを落ち着かせた。などという理由で現在の119になったといわれています。みなさん、119番通報する際は、焦らず落ち着いて話しましょう。